



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011014	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Fb)		
編集担当教員	香川 実成		
授業担当教員名(科目責任者)	香川 実成		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	香川 実成		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	Fb		
担当教員Eメールアドレス	jissei@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	090-4342-9702		
担当教員オフィスアワー	月曜日14:20～14:50 非常勤控室にて		
授業のねらい	様々なトピックについて書かれた200 words程度の平易な英文パッセージを読む作業と、TOEIC Parts 3 & 4対策の練習問題を毎回こなすことにより、リーディング、ポキャプラリー・ビルディング、リスニング・コンプリヘンション、文法・語法という、基本的な英語学習スキルを向上させることをねらいとします。		
授業方法(学習指導法)	予習を前提とする演習形式で授業を進める。		
授業到達目標	①基本語彙については、「音」・「意味・語法」・「スペリング」の3つを統合して使えるようになること、②リーディングについては、個々のセンテンスの(修飾関係の把握に基づく)構造理解のみならず、センテンス間の論理関係とパラグラフ構成にも意識を向けること、③リスニングについては、英語のリズム、結合・脱落といった現象を確認し、最終的には自分のスピーキングで同様のことを実践すること一以上を目標とする。TOEICスコアなら500点以上が目標。		
授業内容	第2回～第15回の毎回、教科書各ユニットのパッセージを材料として、そこで用いられている語彙の習得、内容理解の確認を中心とするリーディング・アクティビティをおこなう。毎回、前の週に扱ったユニットについての小テストをおこなう。		
	回	内容	
	1	10月3日 授業概要と授業計画の説明	
	2	10月17日 Unit 7: Multiculturalism	
	3	10月24日 Unit 8: Space Tourism	
	4	10月31日 Unit 9: Cultural Taboos	
	5	11月7日 Unit 11: The Burj Al Arab	
	6	11月14日 Unit 12: Speed Dating	
	7	11月28日 Unit 13: Shanghai	
	8	12月5日 Unit 14: Global Warming	
	9	12月12日 Unit 15: High-Speed Trains	
	10	12月19日 Unit 16: Single-Child Families	
	11	12月26日 Unit 17: Identity Theft	
	12	1月16日 Unit 18: India on the Rise	
	13	1月23日 Unit 19: Trans Fat	
	14	1月30日 Unit 20: Artificial Intelligence	

	15	2月6日 G-TELP(共通テスト)とまとめ
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	Andrew E. Bennett, Reading Pass 1 (Nan'un-Do)	
成績評価の方法・基準等	共通テスト 20% 小テスト 30% 定期試験 50% この授業の評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3																																
開講期間																																			
必修選択	必	単位数	1.0																																
時間割コード	20110590011015	科目番号	05900110																																
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Fc)																																		
編集担当教員	大坪 有実																																		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実																																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																
教室	[全]402																																		
対象学生(クラス等)	Fc																																		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp																																		
担当教員研究室	非常勤講師控室																																		
担当教員TEL																																			
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00~12:50																																		
授業のねらい	このクラスは、既習文法の再確認を中心に、リーディング力をつけていくことをねらいとする。																																		
授業方法(学習指導法)	フレーズリーディングを演習形式で行います。本文を音読し、各フレーズ単位で意味をつかみ、文全体の意味を理解していきます。																																		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>文をフレーズで区切り、文全体の意味がつかめるようになる。</li> <li>各課で学習した文法項目を理解し、学習した文法、熟語を用い、英作文が作れる。</li> </ul>																																		
授業内容	<p>全体は大きく、前半と後半からなる。 授業の前半はリーディングを中心した授業で、フレーズリーディングをしながら、速読力を身につけていきます。 授業の後半は既習文法の再確認、また、その応用としてTOEICの問題を解いていきます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月3日 教科書販売・Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月17日 Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月24日 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月31日 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月7日 Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月14日 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月28日 College Students Feel Better after Screaming Together</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12月5日 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12月12日 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12月19日 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12月26日 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1月16日 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1月23日 Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>1月30日 Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>2月6日 G-TELP とまとめ</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月3日 教科書販売・Introduction	2	10月17日 Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them	3	10月24日 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source	4	10月31日 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power	5	11月7日 Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's	6	11月14日 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property	7	11月28日 College Students Feel Better after Screaming Together	8	12月5日 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers	9	12月12日 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales	10	12月19日 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water	11	12月26日 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies	12	1月16日 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts	13	1月23日 Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health	14	1月30日 Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate	15	2月6日 G-TELP とまとめ
回	内容																																		
1	10月3日 教科書販売・Introduction																																		
2	10月17日 Scientists Zap Coral Reefs with Electricity to Save Them																																		
3	10月24日 "Humble" Potato Emerging as World's Next Food Source																																		
4	10月31日 Offices Use Ice to Cool Down and Save Power																																		
5	11月7日 Study: Exercise in Middle Age Cuts Risk of Alzheimer's																																		
6	11月14日 Egyptians Look to Desert for Hot Residential Property																																		
7	11月28日 College Students Feel Better after Screaming Together																																		
8	12月5日 Indian Dam Drowns Valley, Angering Farmers																																		
9	12月12日 Smoking Bans Could Cut into Cuban Cigar Sales																																		
10	12月19日 Global Warming Claiming Next Victim: Andes Water																																		
11	12月26日 Aborigines Still Rely on Bush Medicines for Remedies																																		
12	1月16日 African Farmers Seek Ways to Survive Droughts																																		
13	1月23日 Study: Fruity Cocktails May Be Good for Health																																		
14	1月30日 Rising Seas May Force Island Nations to Evacuate																																		
15	2月6日 G-TELP とまとめ																																		

	16   2月13日 定期試験
キーワード	フレーズリーディング
教科書・教材・参考書	Healing Our World Today's Health and Environment News 南雲堂 \1,800+税 第1回目の授業時、教室にてテキストを販売します。
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 発表を含む、授業に対する積極的な取組状況40% 上の100%評価を80%に換算し、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。 教科書を購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011028	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(P18)		
編集担当教員	西原 真弓		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 真弓		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 真弓		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	P18		
担当教員Eメールアドレス	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	月曜日昼休み 非常勤講師室にて		
授業のねらい	学生たちの身近にある内容の読み物をベースに、英語で読み、聞き、書き、話す力を伸ばすことをねらいとする。リスニングでは音変化を意識し、自然な英語を聞き取れるようになる。また、表現力を広げ、情報発信能力を向上させる。		
授業方法(学習指導法)	テキストをベースに、英語の4技能をのばす練習を行う。また、速読用のプリントを使い、情報を読み取り、それに関する自分の意見を言えるようにしていく。		
授業到達目標	必要な情報の読解、聴解ができるようになる。表現力を広げ、英語での自己表現能力を向上させる。		
授業内容	16回目 8月9日 定期試験		
	回	内容	
	1	オリエンテーション、音声のポイント	
	2	On-Campus Facilities	
	3	Classroom Expectations	
	4	Roommates Wanted	
	5	Tutoring	
	6	A Blind Date Disaster	
	7	Marriage Announcement	
	8	Chemistry	
	9	Pre-Wedding Parties	
	10	Driving in the US	
	11	Driving in the US	
	12	Pastime	
	13	Relaxing Time	
	14	Words of Encouragement	
15	G-TELPとまとめ		

	16   試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	西原俊明、西原真弓、Amy Mukamuri 『Cultural Encounters』センゲージラーニング
成績評価の方法・基準等	定期試験 70点 授業外課題 10点 G-TELP 20点
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20110590011033	科目番号	05900110																
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Fa)																		
編集担当教員	西原 俊明																		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]323																		
対象学生(クラス等)	Fa																		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp																		
担当教員研究室																			
担当教員TEL	095-819-2095																		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment																		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。																		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。																		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。																		
授業内容	<p>※水産学部総合英語Ⅱは、習熟度別クラスにて実施します。クラス分けは、事前に発表しますので、掲示をよくみておいてください。(英語コミュニケーションは、従来どおりのクラスです)。なお、第1回目の授業時にテストをしますので、必ず出席してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月3日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月17日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月24日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月31日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月7日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月14日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月28日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月3日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明	2	10月17日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	3	10月24日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	4	10月31日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	5	11月7日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	6	11月14日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	7	11月28日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)
回	内容																		
1	10月3日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明																		
2	10月17日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)																		
3	10月24日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)																		
4	10月31日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)																		
5	11月7日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)																		
6	11月14日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)																		
7	11月28日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)																		

	8	12月5日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)
	9	12月12日 第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、映画による聞き取り(3)
	10	12月19日 第10回 グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(4)
	11	12月26日 第11回 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3)、速読(phrase reading)
	12	1月16日 第12回 つながる音、映画による聞き取り(5)、速読(phrase reading)
	13	1月23日 第13回 なくなる音、速読(phrase reading)、映画による聞き取り(6)
	14	1月30日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として)、グループによるディスカッション(2)
	15	2月6日 Review及びG-TELPテスト
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト(Cultural Encounters (センテージ)) 速読教材としては、各種英字新聞から環境、水産資源、生物に関わる話題を精選し、教材とする。	
成績評価の方法・基準等	共通テスト(G-TELP)(20%)、小テスト(70%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。 平成22年度後期の総合英語IIの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	





## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育\_総合英語Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011001	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Ld)		
編集担当教員	山崎 有介		
授業担当教員名(科目責任者)	山崎 有介		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山崎 有介		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	Ld		
担当教員Eメールアドレス	pro-1223@i-next.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業終了後		
授業のねらい	単に教員から学ぶだけでなく、積極的にノートをとることによって予習や復習が可能になり、授業内容が確認でき、真の英語力が向上し、試験対策にも役立つと期待されます。		
授業方法(学習指導法)	毎回短い英文を読み、語彙・語法を指導する。また、Exerciseで応用に挑戦し、自ら英文を書けるようにする。		
授業到達目標	無理なく通常の英文が読み、聴覚力を養うことで、発音の向上を目指し、英語における表現力を豊かにしたい。TOEICや英検などの資格試験のスキルアップにも役立てたい。		
授業内容	毎回1つのChapterを進む。Taking Notes、Comprehension & Vocabulary、Grammar & Compositionを行う。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション: 授業の進め方・評価の仕方の説明・授業アンケート&クイズ	
	2	If Great Buddha stood up? 文法のテーマ: 動詞の語法(1)	
	3	The development of mobile phones 文法のテーマ: 動詞の語法(2)	
	4	The Internet in globalization 文法のテーマ: 時制	
	5	The history of curry 文法のテーマ: 助動詞	
	6	Dogs as a companion 文法のテーマ: 不定詞	
	7	Global warming 文法のテーマ: 動名詞	
	8	中間としてのまとめ(テストを含む)	
	9	St. Valentine's Day 文法のテーマ: 分詞	
	10	Republic of Seychilles 文法のテーマ: 冠詞	
11	The role of sports 文法のテーマ: 前置詞		

	12	Ig Nobel Prize 文法のテーマ:受動態
	13	What makes a diet a success? 文法のテーマ:関係詞(1)関係代名詞
	14	A myth about escaping from hell 文法のテーマ:関係詞(1)関係副詞
	15	後半のまとめ、およびG-TELPテスト
	16	全体のまとめ(定期試験を含む)
キーワード	文法/Listening/Speaking/Reading/Writing/Vocabulary	
教科書・教材・参考書	Learn and Study English: How to take Notes (Asahi Press)	
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【○定期試験50%、中間試験30%、小試験10%、授業への姿勢(予習・発言・質問)10%】 G-TELPテスト20%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011006	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Lc)		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	Lc		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	講義の前後		
授業のねらい	(1)世界からの身近なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業方法(学習指導法)	講義形式でテキストをすすめる。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明。テレビニュース英語について。	
	2	ABC World News 12 Unit 1	
	3	ABC World News 12 Unit 1	
	4	ABC World News 12 Unit 3	
	5	ABC World News 12 Unit 3,4	
	6	ABC World News 12 Unit 4	
	7	ABC World News 12 Unit 9	
	8	ABC World News 12 Unit 9,10	
	9	ABC World News 12 Unit 10	
	10	ABC World News 12 Unit 11	
	11	ABC World News 12 Unit 11, 13	
	12	ABC World News 12 Unit 13	
	13	ABC World News 12 Unit 14	
	14	ABC World News 12 Unit 14, Review	
	15	G-TELPとまとめ	
16	期末試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	ABC World News 12 (KINSEIDO)
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%(定期試験70%、課題、出席、授業への積極的な取り組み30%) G-TELP20%
受講要件(履修条件)	毎回の予習。10回以上の出席
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	授業で指示



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011013	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(P19)		
編集担当教員	川島 浩勝		
授業担当教員名(科目責任者)	川島 浩勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	川島 浩勝		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	P19		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	長崎外国語大学 3階334研究室		
担当教員TEL	095-840-2000		
担当教員オフィスアワー	授業終了後、質問を受けつける。また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。		
授業のねらい	「総合英語I」における学習成果を基に、英語のリスニングとリーディングにおけるより高度な情報処理能力を身につける。		
授業方法(学習指導法)	様々なタスクを用い、リスニングとリーディングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己の英語力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングとリーディングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。		
授業到達目標	本授業の到達目標は、1)より高度な内容の口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2)語彙力のアップ、3)コンテキストがある場合、英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4)リスニングのスピードでより難しい文の処理・理解ができるようになる、5)より難しい英文の音読ができる、である。		
授業内容	<p>第1回: 授業方針の説明・英語力診断テスト</p> <p>第2回～第7回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分けて授業を行う。 A: Extensive Listening 1 (アメリカの家族生活を題材としたDVD: Level 3) B: 語彙力アップ( Level 3) C: コンテキスト付きミニマルペアーの識別練習 D: 文法・意味レベルにおける文理解</p> <p>第8回: 授業内容A)～D)のまとめ・リスニング力把握テスト</p> <p>第9回～第14回: 90分授業を大まかに下記の4つのパートに分けて授業を行う。 E: Extensive Listening 2 (アメリカの家族生活を題材としたDVD: Level 4) F: 語彙力アップ( Level 4) G: ストーリー・リスニング&amp;リーディング( Level 2) H: Gの内容理解およびその音読</p> <p>第15回: 全授業のまとめ・G-TLEP</p> <p>第16回: 学期末試験(1月31日)</p>		

	<p>-----</p> <p>2011.10.4 授業方針の説明・英語力診断テスト  2011.10.11 上記の授業内容(A-D)  2011.10.18 上記の授業内容(A-D)  2011.10.25 上記の授業内容(A-D)  2011.11.1 上記の授業内容(A-D)  2011.11.8 上記の授業内容(A-D)  2011.11.15 上記の授業内容(A-D)  2011.11.22 授業内容A～Dのまとめ・リスニング力把握テスト(1)  2011.11.29 上記の授業内容(E-H)  2011.12.6 上記の授業内容(E-H)  2011.12.13 上記の授業内容(E-H)  2011.12.20 上記の授業内容(E-H)  2012.1.10 上記の授業内容(E-H)  2012.1.17 上記の授業内容(E-H)・リスニング力把握テスト(2)  2012.1.24 全授業のまとめ&amp;G-TELP  2012.1.31 学期末試験</p>
キーワード	リスニング・語彙力・ミニマルペアー・リーディング・文理解・音読
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。
成績評価の方法・基準等	レポート20%・G-TELP20%・学期末試験60%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	





## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011039	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Lf)		
編集担当教員	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(科目責任者)	稲毛 逸郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲毛 逸郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	Lf		
担当教員Eメールアドレス	inagc@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー	水曜日 16:10～17:40		
授業のねらい	これまでの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	英語の会話文の聞き取り練習を基に、書く・話す練習を行い、また、リーディング用教材を用いて、要点を押さえながらできる限り速く読み進める訓練を行う。		
授業到達目標	英語の4技能の訓練を通して、英検準1級程度の試験に合格できる総合的英語力の育成を目標とする。		
授業内容	16回目 定期試験		
	回	内容	
	1	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Unit 1 Culture and Identity Scanningのスキルについて	
	2	Unit 1 Culture and Identity Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)	
	3	Unit 2 Hidden Culture Skimming for the Main Idea	
	4	Unit 3 Stereotypes Recognizing Sequence of Events	
	5	Unit 4 Words, words, words Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)	
	6	Unit 5 Communication Without Words Predicting のスキル	
	7	Unit 6 Diversity Inferring のスキル	
	8	Unit 7 Perception Identifying Main and Supporting Ideas	
	9	Unit 8 Communication Styles (1) Understanding Main Ideas (Gist)	
10	Unit 9 Communication Styles (2)		

	Identifying Main Ideas within Paragraphs (2)
	11 Unit 10 Values Developing Reading Fluency (1)
	12 Unit 11 Deep Culture Developing Reading Fluency (2)
	13 Unit 12 Culture Shock (1) Developing Reading Fluency (3)
	14 Unit 12 Culture Shock (2) Developing Reading Fluency (4)
	15 授業のまとめ 及び G-TELPテスト実施
	16 定期試験 実施
キーワード	英語の4技能、総合的訓練
教科書・教材・参考書	Different Realities 南雲堂
成績評価の方法・基準等	教員評価分【期末試験(70%)、毎回実施の小テスト(10%)、授業での活動に対する積極的な取り組み状況(10%)を基準に評価する。】 総合英語IIの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	既習外国語
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水1																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20110590011022	科目番号	05900110																
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Kc)																		
編集担当教員	稲富 百合子																		
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]302																		
対象学生(クラス等)	Kc																		
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp																		
担当教員研究室	非常勤講師室																		
担当教員TEL																			
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。																		
授業のねらい	この授業では、世界15カ国の文化や歴史に関する映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を高めることを目指します。																		
授業方法(学習指導法)	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。																		
授業到達目標	(1)英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2)自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。																		
授業内容	<p>予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニット進めることを進度の目安にしてください。 リーディングでは、各国に関する英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。 リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。 テキストの構成は以下の通りです。</p> <p>(1) Warm-up Exercise: 各国に関する背景知識について (2) Vocabulary Exercise: Readingの中に出てくる単語とその意味について (3) Reading: 300語程度の英文。各国に関する情報を増やし、DVDの内容理解の助けとなるもの (4) DVD Part I: 各国の歴史、文化、社会などの紹介と内容理解を問う練習問題 (5) DVD PART II: 地元の人々へのインタビュー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 10月5日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の文章構成について(プリント教材) テキストChapter 1:INDIA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 10月12日 Chapter 1のつづき、Chapter 2: PHILIPPINES</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 10月19日 Chapter 3: THAILAND</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 10月26日 Chapter 4: VIETNAM</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 11月2日 Chapter 5: KOREA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 11月9日 Chapter 6: FRANCE</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 11月16日 Chapter 7: ITALY</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 10月5日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の文章構成について(プリント教材) テキストChapter 1:INDIA	2	第2回 10月12日 Chapter 1のつづき、Chapter 2: PHILIPPINES	3	第3回 10月19日 Chapter 3: THAILAND	4	第4回 10月26日 Chapter 4: VIETNAM	5	第5回 11月2日 Chapter 5: KOREA	6	第6回 11月9日 Chapter 6: FRANCE	7	第7回 11月16日 Chapter 7: ITALY
回	内容																		
1	第1回 10月5日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の文章構成について(プリント教材) テキストChapter 1:INDIA																		
2	第2回 10月12日 Chapter 1のつづき、Chapter 2: PHILIPPINES																		
3	第3回 10月19日 Chapter 3: THAILAND																		
4	第4回 10月26日 Chapter 4: VIETNAM																		
5	第5回 11月2日 Chapter 5: KOREA																		
6	第6回 11月9日 Chapter 6: FRANCE																		
7	第7回 11月16日 Chapter 7: ITALY																		

	8 第8回 11月30日 Chapter 8: DENMARK
	9 第9回 12月7日 Chapter 9: PORTUGAL
	10 第10回 12月14日 Chapter 10: TURKEY
	11 第11回 12月21日 Chapter 11: EGYPT
	12 第12回 1月11日 Chapter 12: SOUTH AFRICA
	13 第13回 1月18日 Chapter 13: BRAZIL
	14 第14回 1月25日 Chapter 14: PERU, Chapter 15: GUATEMALA
	15 第15回 2月1日 G-TELPとまとめ
	16 第16回 2月8日 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	World Adventures(金星堂)2,300円(税別)ISBN: 978-4-7647-3907-9 * 授業には必ず辞書を持参して下さい。
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)30%、小テスト10%とし、総合的に評価します。】 ※平成23年度後期の総合英語IIの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。





## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011030	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Kd)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	Kd		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階404研究室		
担当教員TEL	095-819-2740		
担当教員オフィスアワー	月曜日4-5時		
授業のねらい	基本的な英語を話す、聞く、読む、書く力を伸ばす。コミュニケーション力をつける。		
授業方法(学習指導法)	ビデオ・映画視聴、リスニング、リピーティング、シャドウイング、ペアで会話練習、リーディング、ライティング		
授業到達目標	簡単な会話の文型を覚えて、身近なことや自分について、話せるようになる。 簡単な英語の本をすらすらと読める。 自分のコメントを言えるようになる。		
授業内容	<p>① 外国語学習に音声の要素を含めるか否かが習得の成功の鍵となるので、CDを何度も聞き、声を出して練習する。I Cレコーダーに録音し、学習の記録をとる。 ② イギリスのドラマを視聴し、ロールプレイをする。 ③ 簡単な英語教材を読み、英語で内容をまとめ、意見を発表する</p> <p>第1回 1課—4課 第2回 5課—8課 第3回 9課—12課 第4回 13課—16課 第5回 17課—20課 第6回 21課—24課 第7回 25課—28課 第8回 29課—32課 第9回 33課—36課 第10回 37課—40課 第11回 41課—44課 第12回 45課—48課 第13回 49課—50課 第14回 会話テスト 第15回 G-TELPとreview 第16回 筆記テスト</p>		
キーワード	スピーキング、リピーティング、レコーディング、ペアワーク		
教科書・教材・参考書	1) 英会話なるほど練習帳(アルク、2001) 2) 副読本2冊(テキストは最初の時間に販売) 3) プリント教材		
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【定期試験50%、口頭試験30%、課題20%】、G-TELPテスト20%		

受講要件(履修条件)	1) 毎回必ず授業に出席すること。 2) 毎日英語の音読を録音すること。
本科目の位置づけ	英語の読み、書き、聞く、話す力の基礎を勉強する。
学習・教育目標	簡単な英語の読み、書き、聞く、話す力をつける。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	毎日必ず英語を音読し、録音する。 英語の映画を英語字幕で見る。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011037	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Le)		
編集担当教員	小笠原 真司		
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]125		
対象学生(クラス等)	Le		
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部1階		
担当教員TEL	095-819-2094		
担当教員オフィスマワー	木3 金3 金5		
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力や速読の練習を行い、そのスキルを大幅に向上させます。またプリント教材により毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。		
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、大意を取る練習をします。また細かな部分はブレーズリーディングで速読します。またテキストを用いて、リスニングの練習をたくさん行い、リスニングストラテジーによるリスニングスキルを身につけます。そして、e-learning 教材を授業の一部で行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。		
授業到達目標	<p>プリント教材のテキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。</p> <p>また教科書の歌や歌詞が80%聞き取れるようにします。教科書の課題例文120を修得します。</p> <p>e-learning 教材パワーワーズレベル3の80%を修得します。</p> <p>授業の最初には、前回学習したプリントのテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ず練習してください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p>		
	回	内容	
	1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 3 Unit.1	
	2	Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 3 Unit.2-4	
	3	Puff e-learning Power Pords Level 3 Unit.5-8	
	4	Unchained Melody e-learning Power Pords Level 3 Unit.9-12	

授業内容	5	Over the Rainbow e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16	
	6	Where Have All the Flowers Gone? e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20	
	7	Tennessee Waltz e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24	
	8	My Way e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28	
	9	Dreaming Home and Mother e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32	
	10	Long Long Ago e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36	
	11	Grandfather's Clock e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40	
	12	I've Working on the Railroad e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43	
	13	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47	
	14	We wish you a Merry Christmas e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50	
	15	G-TELP 試験とまとめ	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Melodies of the Heart (CD付) (英光社)1,900円  (第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
	受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。	
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011007	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Eh)		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	Eh		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	講義の前後		
授業のねらい	(1)世界からの身近なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業方法(学習指導法)	講義形式でテキストを進める。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明	
	2	ABC World News 13 テレビニュース英語について、Unit 1	
	3	ABC World News 13 Unit 1	
	4	ABC World News 13 Unit 2	
	5	ABC World News 13 Unit 2,3	
	6	ABC World News 13 Unit 3	
	7	ABC World News 13 Unit 7	
	8	ABC World News 13 Unit 7,9	
	9	ABC World News 13 Unit 9	
	10	ABC World News 13 Unit 10	
	11	ABC World News 13 Unit 10, 12	
	12	ABC World News 13 Unit 12	
	13	ABC World News 13 Unit 13	
	14	ABC World News 13 Unit 13, Review	
	15	G-TELPとまとめ	
16	期末試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	ABC World News 13 (KINSEIDO)
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%(定期試験70%、課題、出席、授業への積極的な取り組み30%) G-TELP20%
受講要件(履修条件)	毎回の予習、10回以上の出席
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	授業で指示



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011016	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Eg)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	Eg		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00~12:50		
授業のねらい	このクラスは、リーディングとリスニングの能力を高めながら、食の問題、言葉の問題、教育の問題など、アメリカの動向を読み、自国との違いを意識し、物事を多角的に見る力を養うことをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>何が問題になっているのか、英文を読んで、正確に理解できる。</li> <li>各課のトピックを読み、アメリカと自国の類似点、差異を指摘できる。</li> </ul>		
授業内容	全体は大きく、前半と後半からなる。 授業の前半は、リスニングで、各テーマについて、文法を確認しながら精読していく。 授業の後半はリスニングを中心とした授業で、音変化などを意識し、聴きとる力を鍛える。		
	回	内容	
	1	10月5日 教科書販売・Introduction	
	2	10月12日 Reliving History	
	3	10月19日 Yoga, Old but New	
	4	10月26日 Local Currency	
	5	11月2日 The Megachurch	
	6	11月9日 One or Many?	
	7	11月16日 NASCAR	
	8	11月30日 Food & Cuisine	
	9	12月7日 Slang	
	10	12月14日 Medical Tourism	
	11	12月21日 Marked for Life	
	12	1月11日 Holidays	
	13	1月18日 Schools at Home	
	14	1月25日 Jackpot Justice	
15	2月1日 G-TELP とまとめ		

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	What's Happening USA アメリカ再発見 金星堂 \1,800+税 第1回目の授業時、教室にてテキストを販売します。
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 発表を含む、授業に対する積極的な取組状況40% 上の100%評価を80%に換算し、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。 教科書を購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2																								
開講期間																											
必修選択	必	単位数	1.0																								
時間割コード	20110590011019	科目番号	05900110																								
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Ee)																										
編集担当教員	中村 吏花																										
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花																										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花																										
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																										
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																								
教室	[全]401																										
対象学生(クラス等)	Ee																										
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)																										
担当教員研究室	非常勤講師室																										
担当教員TEL																											
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み																										
授業のねらい	速読、精読を意識して行う。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。「珠玉のスピーチ」を暗唱する。																										
授業方法(学習指導法)	英文解釈や英文音読など毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属のCDを活用して、英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。重要文法事項を解説する。																										
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得する。英語と日本語の違いを知り、英文の語順のまま、内容を理解できる。																										
授業内容	<p>始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 10月5日 Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 10月12日 Abraham Lincoln</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 10月19日 Barack H. Obama</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 10月26日 Barack H. Obama</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 11月2日 Barack H. Obama</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 11月9日 Haruki Murakami</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 11月16日 Haruki Murakami</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 11月30日 Haruki Murakami</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 12月7日 Haruki Murakami</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 12月14日 Aung San Suu Kyi</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回 12月21日 Aung San Suu Kyi</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 10月5日 Introduction	2	第2回 10月12日 Abraham Lincoln	3	第3回 10月19日 Barack H. Obama	4	第4回 10月26日 Barack H. Obama	5	第5回 11月2日 Barack H. Obama	6	第6回 11月9日 Haruki Murakami	7	第7回 11月16日 Haruki Murakami	8	第8回 11月30日 Haruki Murakami	9	第9回 12月7日 Haruki Murakami	10	第10回 12月14日 Aung San Suu Kyi	11	第11回 12月21日 Aung San Suu Kyi
回	内容																										
1	第1回 10月5日 Introduction																										
2	第2回 10月12日 Abraham Lincoln																										
3	第3回 10月19日 Barack H. Obama																										
4	第4回 10月26日 Barack H. Obama																										
5	第5回 11月2日 Barack H. Obama																										
6	第6回 11月9日 Haruki Murakami																										
7	第7回 11月16日 Haruki Murakami																										
8	第8回 11月30日 Haruki Murakami																										
9	第9回 12月7日 Haruki Murakami																										
10	第10回 12月14日 Aung San Suu Kyi																										
11	第11回 12月21日 Aung San Suu Kyi																										

	12	第12回 1月11日 Aung San Suu Kyi
	13	第13回 1月18日 発表(1)
	14	第14回 1月25日 発表(2)
	15	第15回 2月1日 G-TELPとまとめ
	16	第16回 2月8日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	加島巧『珠玉のスピーチで学ぶ英語』(センゲージラーニング、2011年)1995円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人には受講を認めません。	
成績評価の方法・基準等	定期試験65%、発表15%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学\_総英Ⅱ」  
シラバスの詳細は以下となります。

学期	後期	曜日・校時	水2																		
開講期間																					
必修選択	必	単位数	1.0																		
時間割コード	20110590011023	科目番号	05900110																		
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Ef)																				
編集担当教員	稲富 百合子																				
授業担当教員名(科目責任者)	稲富 百合子																				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	稲富 百合子																				
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																				
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																		
教室	[全]302																				
対象学生(クラス等)	Ef																				
担当教員Eメールアドレス	inadomi@fukuoka-u.ac.jp																				
担当教員研究室	非常勤講師室																				
担当教員TEL																					
担当教員オフィスアワー	授業の前後、また、メールにて受け付けます。																				
授業のねらい	この授業では、世界15カ国の文化や歴史に関する映像(DVD)を活用しながら、できるだけ多くの英語の文章に触れ、読解力を高めることを目指します。																				
授業方法(学習指導法)	授業の前半ではリーディングを中心に、後半ではリスニングの問題を中心に進めていきます。各自、予習、復習をして授業に臨んでください。																				
授業到達目標	(1)英語の文章構成の基礎知識について学び、速読のスキルを身につけ、英語の文章を効率的に、かつ正確に読み進めることができるようになる。 (2)自然な速度で話される英語の音声変化の特徴を学び、話されている内容の理解力を向上させる。																				
授業内容	<p>予習、復習を前提に行います。1回の授業につき1ユニットを進めることを進度の目安にしてください。 リーディングでは、各国に関する英文を読み、語彙・文法・構文など、様々な要素の知識を習得していきましょう。 リスニングにおいては、ディクテーションを行い、内容の大意をつかむ練習と細部まで理解を深める練習の両方を行います。また、単語や表現の正確な発音を身につけていきます。 テキストの構成は以下の通りです。</p> <p>(1) Warm-up Exercise: 各国に関する背景知識について (2) Vocabulary Exercise: Readingの中に出てくる単語とその意味について (3) Reading: 300語程度の英文。各国に関する情報を増やし、DVDの内容理解の助けとなるもの (4) DVD Part I: 各国の歴史、文化、社会などの紹介と内容理解を問う練習問題 (4) DVD PART II: 地元の人々へのインタビュー</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 10月5日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の文章構成について(プリント教材) テキストChapter 1:INDIA</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 10月12日 Chapter 1のつづき、Chapter 2: PHILIPPINES</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 10月19日 Chapter 3: THAILAND</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 10月26日 Chapter 4: VIETNAM</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 11月2日 Chapter 5: KOREA</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 11月9日 Chapter 6: FRANCE</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 11月16日 Chapter 7: ITALY</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 11月30日 Chapter 8: DENMARK</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 10月5日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の文章構成について(プリント教材) テキストChapter 1:INDIA	2	第2回 10月12日 Chapter 1のつづき、Chapter 2: PHILIPPINES	3	第3回 10月19日 Chapter 3: THAILAND	4	第4回 10月26日 Chapter 4: VIETNAM	5	第5回 11月2日 Chapter 5: KOREA	6	第6回 11月9日 Chapter 6: FRANCE	7	第7回 11月16日 Chapter 7: ITALY	8	第8回 11月30日 Chapter 8: DENMARK
回	内容																				
1	第1回 10月5日 教科書販売、オリエンテーション(授業の進め方について説明) 英語の文章構成について(プリント教材) テキストChapter 1:INDIA																				
2	第2回 10月12日 Chapter 1のつづき、Chapter 2: PHILIPPINES																				
3	第3回 10月19日 Chapter 3: THAILAND																				
4	第4回 10月26日 Chapter 4: VIETNAM																				
5	第5回 11月2日 Chapter 5: KOREA																				
6	第6回 11月9日 Chapter 6: FRANCE																				
7	第7回 11月16日 Chapter 7: ITALY																				
8	第8回 11月30日 Chapter 8: DENMARK																				

	9	第9回 12月 7日 Chapter 9: PORTUGAL
	10	第10回 12月14日 Chapter 10: TURKEY
	11	第11回 12月21日 Chapter 11: EGYPT
	12	第12回 1月11日 Chapter 12: SOUTH AFRICA
	13	第13回 1月18日 Chapter 13: BRAZIL
	14	第14回 1月25日 Chapter 14: PERU, Chapter 15: GUATEMALA
	15	第15回 2月 1日 G-TELPとまとめ
	16	第16回 2月8日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	World Adventures(金星堂)2,300円(税別)ISBN: 978-4-7647-3907-9 * 授業には必ず辞書を持参して下さい。	
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【定期試験60%、授業への積極的な取り組み状況(発表を含む)30%、小テスト10%とし、総合的に評価します。】 ※平成23年度後期の総合英語IIの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。第1回目の授業では、教室で教科書販売を行います。	





## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011034	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Lb)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	Lb		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。		
授業内容	回	内容	
	1	10月5日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月12日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	3	10月19日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	
	4	10月26日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	
	5	11月2日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	
	6	11月9日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	
	7	11月16日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	
	8	11月30日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)	

	9	12月7日 第9回 インフォメーションギャップによるヘアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	12月14日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	12月21日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるヘアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	1月11日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	1月18日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	14	1月25日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	15	2月1日 Review 及びG-TELPテスト
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト Cultural Encounters (センゲージ)	
成績評価の方法・基準等	教員評価分【まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。】 平成23年度後期の総合英語IIの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	Plain Englishのプリント教材を復習し、小テストに備えること。 G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水2								
開講期間											
必修選択	必	単位数	1.0								
時間割コード	20110590011038	科目番号	05900110								
授業科目名	●総合英語Ⅱ(La)										
編集担当教員	小笠原 真司										
授業担当教員名(科目責任者)	小笠原 真司										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小笠原 真司										
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習										
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目								
教室	[全]125										
対象学生(クラス等)	La										
担当教員Eメールアドレス	ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp										
担当教員研究室	環境科学部1階										
担当教員TEL	095-819-2094										
担当教員オフィサー	木3 金3 金5										
授業のねらい	このクラスは、テキストを利用して、リスニング力や速読の練習を行い、そのスキルを大幅に向上させます。またプリント教材により毎回ニュース英語を読みリーディング力と語彙力の養成を行います。音読の訓練も行い、スピーキング面での強化も行います。										
授業方法(学習指導法)	演習形式で行います。指定されたテキストと配付のプリント教材を用いて、大意を取る練習をします。また細かな部分はプレーズリーディングで速読します。またテキストを用いて、リスニングの練習をたくさん行い、リスニングストラテジーによるリスニングスキルを身につけます。そして、e-learning 教材を授業の一部で行なうとともに、多くの部分は範囲を指定して、授業外学習をしてもらいます。										
授業到達目標	プリント教材のテキストの英文を辞書なしでも大意がとれるようにします。テキストのファーストパラグラフがリピーティングできるようにします。 また教科書の歌や歌詞が80%聞き取れるようにします。教科書の課題例文120を修得します。 e-learning 教材パワーワーズレベル3の80%を修得します。										
	<p>授業の最初には、前回学習したプリントのテキストの第1パラグラフのリピーティングからはじめます。家庭で必ず練習してください。</p> <p>その後、リーディングの練習をします。学生は指示された範囲や内容を必ず予習して授業に参加してください。ここでは、音読の練習も行います。英語のリズムや音から英語を学ぶことも大切です。時間を制限して読んでもらい、大意をつかみ、必要な情報を読み取る練習をします。</p> <p>教科書の歌の歌詞をCDを用いて聞き取る練習をし、リスニングスキルをアップさせます。</p> <p>英語の力を維持し、さらに向上させるためには、大学での授業に加えて家庭での学習が必要となります。授業外でe-learning教材にも挑戦してもらいます。その進捗度も評価に加えます。</p> <p>担当者から指示された家庭学習や予習を行えば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。</p> <p>16回 定期試験</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 3 Unit.1</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Puff e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 3 Unit.1	2	Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4	3	Puff e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8
回	内容										
1	オリエンテーション Take Me Out to the Ball Game e-learning Power Pords Level 3 Unit.1										
2	Edelweiss, Amazing Grace e-learning Power Pords Level 3 Unit.2~4										
3	Puff e-learning Power Pords Level 3 Unit.5~8										

授業内容	4	Unchained Melody e-learning Power Pords Level 3 Unit.9~12	
	5	Over the Rainbow e-learning Power Pords Level 3 Unit.13~16	
	6	Where Have All the Flowers Gone? e-learning Power Pords Level 3 Unit.17~20	
	7	Tennessee Waltz e-learning Power Pords Level 3 Unit.21~24	
	8	My Way e-learning Power Pords Level 3 Unit.25~28	
	9	Dreaming Home and Mother e-learning Power Pords Level 3 Unit.29~32	
	10	Long Long Ago e-learning Power Pords Level 3 Unit.33~36	
	11	Grandfather's Clock e-learning Power Pords Level 3 Unit.37~40	
	12	I've Working on the Railroad e-learning Power Pords Level 3 Unit.41~43	
	13	Beautiful Dreamer e-learning Power Pords Level 3 Unit.44~47	
	14	We wish you a Merry Christmas e-learning Power Pords Level 3 Unit.48~50	
	15	G-TELP 試験とまとめ	
	16	定期試験	
	キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
	教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Melodies of the Heart (CD付) (英光社)1,900円  (第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材 : プリント教材 毎回配布します。	
	成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、G-TELP20%、e-learning 20% 授業中の発表(小テスト含む)10%で行います。	
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標			
備考(URL)			
備考(準備学習等)			





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	水3																														
開講期間																																	
必修選択	必	単位数	1.0																														
時間割コード	20110590011004	科目番号	05900110																														
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Ed)																																
編集担当教員	加島 巧																																
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧																																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧																																
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																																
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																														
教室	[全]301																																
対象学生(クラス等)	Ed																																
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp																																
担当教員研究室	非常勤講師控え室																																
担当教員TEL																																	
担当教員オフィスアワー	授業時間の前後																																
授業のねらい	ねらい: 英語によるスピーチを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、スピーチの原文を理解できることを目指します。併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。																																
授業方法(学習指導法)	授業方法(学習指導法): 演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。																																
授業到達目標	到達目標: テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。																																
授業内容	<p>授業の最初には、English Proficiency Test でウォーミングアップを行います。その後Memorable Speechesを読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。English Proficiency Test にはテキストとは別に問題集も付属していますので、各自ノートを作成し、毎週指定された部分の問題を解いて行ってもらいます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回: オリエンテーション</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2回: Practice Test 1, LincolnのThe Gettysburg Address</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回: Practice Test 2, Obama のVictory Speech (1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (2)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回: Practice Test 4, ObamaのVictory Speech (3)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回: Practice Test 5, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回: Practice Test 6, Murakami haruki のJerusalem Speech (2)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回: Practice Test 7, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回: Practice Test 9, RooseveltのAnnual Message to Congress(1)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回: Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(2)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第13回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第14回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回: オリエンテーション	2	2回: Practice Test 1, LincolnのThe Gettysburg Address	3	第3回: Practice Test 2, Obama のVictory Speech (1)	4	第4回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (2)	5	第5回: Practice Test 4, ObamaのVictory Speech (3)	6	第6回: Practice Test 5, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)	7	第7回: Practice Test 6, Murakami haruki のJerusalem Speech (2)	8	第8回: Practice Test 7, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)	9	第9回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)	10	第10回: Practice Test 9, RooseveltのAnnual Message to Congress(1)	11	第11回: Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(2)	12	第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3)	13	第13回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)	14	第14回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)
回	内容																																
1	第1回: オリエンテーション																																
2	2回: Practice Test 1, LincolnのThe Gettysburg Address																																
3	第3回: Practice Test 2, Obama のVictory Speech (1)																																
4	第4回: Practice Test 3, Obama のVictory Speech (2)																																
5	第5回: Practice Test 4, ObamaのVictory Speech (3)																																
6	第6回: Practice Test 5, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)																																
7	第7回: Practice Test 6, Murakami haruki のJerusalem Speech (2)																																
8	第8回: Practice Test 7, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)																																
9	第9回: Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)																																
10	第10回: Practice Test 9, RooseveltのAnnual Message to Congress(1)																																
11	第11回: Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(2)																																
12	第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3)																																
13	第13回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)																																
14	第14回: HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)																																

	15	第15回:G-TELPテストとまとめ
	16	第16回:定期試験2月8日(予定)
キーワード	スピーチ、総合英語	
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト): English Proficiency Test (南雲堂)2,100円 Memorable Speeches (センゲージ)1,995円 (第一回目の授業時に教室にて販売します)	
成績評価の方法・基準等	定期試験80% G-TELP 20%	
受講要件(履修条件)	定期試験受験資格は規定による。教科書は2冊とも必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



-----  
 Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011008	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Eb)		
編集担当教員	古場 なおみ		
授業担当教員名(科目責任者)	古場 なおみ		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古場 なおみ		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	Eb		
担当教員Eメールアドレス	kobaknke@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	講義の前後		
授業のねらい	(1)世界からの身近なトピックを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。(2)英字新聞の英語に慣れ親しむ。		
授業方法(学習指導法)	講義形式でテキストを進める。		
授業到達目標	国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明	
	2	English through the News Media Unit 1	
	3	English through the News Media Unit 1,2	
	4	English through the News Media Unit 2	
	5	English through the News Media Unit 3	
	6	English through the News Media Unit 3,5	
	7	English through the News Media Unit 5	
	8	English through the News Media Unit 6	
	9	English through the News Media Unit 6,7	
	10	English through the News Media Unit 7	
	11	English through the News Media Unit 9	
	12	English through the News Media Unit 9,12	
	13	English through the News Media Unit 12	
	14	English through the News Media Review	
	15	G-TELPとまとめ	
16	期末試験		
キーワード			
教科書・教材・参考書	The Half-Edition of English through the News Media (Asahi Press)		

成績評価の方法・基準等	教員評価分80%(定期試験70%、課題、出席、授業への積極的な取り組み30%) G-TELP20%
受講要件(履修条件)	毎回の予習と10回以上の出席
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	授業で指示



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011017	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Ea)		
編集担当教員	大坪 有実		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	Ea		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00~12:50		
授業のねらい	このクラスは、英字新聞を読み、リーディングとリスニングの能力を高めながら、文化・社会、政治・経済、医療・科学医療、娯楽・環境・労働など、幅広い分野についての理解を深めることをねらいとする。		
授業方法(学習指導法)	主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>何が問題になっているのか、英文を読んで、正確に理解できる。</li> <li>各課のトピックを読み、アメリカと自国の類似点、差異を指摘できる。</li> </ul>		
授業内容	全体は大きく、前半と後半からなる。 授業の前半は、リスニングで、各テーマについて、文法を確認しながら精読していく。 授業の後半はリスニングを中心とした授業で、音変化などを意識し、聴きとる力を鍛える。		
	回	内容	
	1	10月5日 教科書販売・Introduction	
	2	10月12日 Cool it!	
	3	10月19日 Bee Careful!	
	4	10月26日 Ready for Inauguration	
	5	11月2日 Shopping Made Easy	
	6	11月9日 Google Trouble	
	7	11月16日 You be the Judge	
	8	11月30日 Tourism Nation	
	9	12月7日 Vanishing Vendors	
	10	12月14日 Best Man	
	11	12月21日 "Very" Experienced Announcers	
	12	1月11日 She Has a Dream	
	13	1月18日 Paradise Lost	
	14	1月25日 Organ TransPRINT	
15	2月1日 G-TELP とまとめ		

	16   2月8日 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	Insights 2010 金星堂 \1,900+税 第1回目の授業時、教室にてテキストを販売します。
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 発表を含む、授業に対する積極的な取組状況40% 上の100%評価を80%に換算し、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。 教科書を購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



戻る

学期	後期	曜日・校時	水3																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590011020	科目番号	05900110																				
授業科目名	●総合英語Ⅱ (Ec)																						
編集担当教員	中村 吏花																						
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]401																						
対象学生(クラス等)	Ec																						
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp (必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み																						
授業のねらい	英字新聞の特徴(その独特の表現や専門用語)を知る。世界のニュースに触れ、世界中で起こっているさまざまな出来事を知り、その背景を理解する。また、日本の現状を客観的に見る目を養う。高校までに学習してきた英語の基礎的な文法事項を再確認する。新出語句や表現を習得する。英語の音の特徴を知り、慣れる。																						
授業方法(学習指導法)	必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。																						
授業到達目標	基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。英語の4技能を総合的に向上させる。																						
授業内容	<p>始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。英文記事を読みながら、英字新聞特有の英語の決まりを知り、練習問題を通して英文記事を読む事に慣れていきましょう。テキストを読むことと平行して、図書館やインターネットで自分の興味のある分野の英字新聞記事を読む訓練もやってみましょう。内容がよくつかめない時は、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているのか、など、細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。速読・精読を意識して記事を読んでいきましょう。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めず。それより遅い入室は欠席扱いとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 10月5日 Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 10月12日 見出しの特徴</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 10月19日 見出しと書き出し(1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 10月26日 見出しと書き出し(2)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 11月2日 学生生活</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 11月9日 健康</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 11月16日 科学</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 11月30日 経済</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 12月7日 政治</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 10月5日 Introduction	2	第2回 10月12日 見出しの特徴	3	第3回 10月19日 見出しと書き出し(1)	4	第4回 10月26日 見出しと書き出し(2)	5	第5回 11月2日 学生生活	6	第6回 11月9日 健康	7	第7回 11月16日 科学	8	第8回 11月30日 経済	9	第9回 12月7日 政治
回	内容																						
1	第1回 10月5日 Introduction																						
2	第2回 10月12日 見出しの特徴																						
3	第3回 10月19日 見出しと書き出し(1)																						
4	第4回 10月26日 見出しと書き出し(2)																						
5	第5回 11月2日 学生生活																						
6	第6回 11月9日 健康																						
7	第7回 11月16日 科学																						
8	第8回 11月30日 経済																						
9	第9回 12月7日 政治																						

	10	第10回 12月14日 スポーツ
	11	第11回 12月21日 農業
	12	第12回 1月11日 国際問題
	13	第13回 1月18日 発表(1)
	14	第14回 1月25日 発表(2)
	15	第15回 2月1日 G-TELPとまとめ
	16	第16回 2月8日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	毎回プリントを配布します。欠席をしてプリントを受け取れなかった場合は、必ず次の授業までにクラスの人から見せてもらうか、メールで問い合わせること。	
成績評価の方法・基準等	定期試験65%、発表15%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	





## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育\_総合英語Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011005	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Tj)		
編集担当教員	加島 巧		
授業担当教員名(科目責任者)	加島 巧		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	加島 巧		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]301		
対象学生(クラス等)	Tj		
担当教員Eメールアドレス	kashima@tc.nagasaki-gaigo.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控え室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業時間の前後		
授業のねらい	ねらい:英語によるスピーチを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、スピーチの原文を理解できることを目指します。併せて、リスニング能力や速読能力を高めるテキストも使用し、英語の総合力を高めます。		
授業方法(学習指導法)	授業方法(学習指導法):演習形式で行います。指定されたテキストの問題を解きながら、その内容を理解していきます。授業の最初には、リスニングや、速読能力を高める授業を行います。毎回指定された量の自宅学習も必要とされます。		
授業到達目標	到達目標:テキストの英語を辞書無しでも読めることを目指します。付属CDでテキストの内容が聞き取れるようにします。		
授業内容	授業の最初には、English Proficiency Test でウォーミングアップを行います。その後Memorable Speechesを読んで行きます。かならず指定された部分を予習しておいてください。English Proficiency Test にはテキストとは別に問題集も付属していますので、各自ノートを作成し、毎週指定された部分の問題を解いて行ってもらいます。		
	回	内容	
	1	第1回:オリエンテーション	
	2	第2回:Practice Test 1, LincolnのThe Gettysburg Address	
	3	第3回:Practice Test 2, Obama のVictory Speech (1)	
	4	第4回:Practice Test 3, Obama のVictory Speech (2)	
	5	第5回:Practice Test 4, ObamaのVictory Speech (3)	
	6	第6回:Practice Test 5, Murakami HarukiのJerusalem Speech (1)	
	7	第7回:Practice Test 6, Murakami haruki のJerusalem Speech (2)	
	8	第8回:Practice Test 7, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (1)	
	9	第9回:Practice Test 8, Aung San Suu KyiのNobel Peace Prize Acceptance Speech (2)	
	10	第10回:Practice Test 9, RooseveltのAnnual Message to Conness(1)	
	11	第11回:Practice Test 10, RooseveltのAnnual Message to Congress(2)	
	12	第12回: RooseveltのAnnual Message to Congress(3)	
	13	第13回:HepburnのUNICEF親善大使Speech(1)	
14	第14回:HepburnのUNICEF親善大使Speech(2)		

	15	第15回:G-TELPテストとまとめ
	16	第16回:定期試験2月8日(予定)
キーワード	スピーチ、総合英語	
教科書・教材・参考書	English Proficiency Test (南雲堂)2,100円 Memorable Speeches (センゲージ)1,995円 (第一回目の授業時に教室にて販売します)	
成績評価の方法・基準等	定期試験80% G-TELP 20%	
受講要件(履修条件)	定期試験受験資格は規定による。教科書は2冊とも必ず購入すること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4																																
開講期間																																			
必修選択	必	単位数	1.0																																
時間割コード	20110590011018	科目番号	05900110																																
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Ti)																																		
編集担当教員	大坪 有実																																		
授業担当教員名(科目責任者)	大坪 有実																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大坪 有実																																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																
教室	[全]204																																		
対象学生(クラス等)	Ti																																		
担当教員Eメールアドレス	r_otsubo@hotmail.co.jp																																		
担当教員研究室	非常勤講師控室																																		
担当教員TEL																																			
担当教員オフィスアワー	水曜日 12:00~12:50																																		
授業のねらい	このクラスは、リーディングの能力を高めることがねらいである。ロボット、野菜ファクトリー、バイリンガル・メガネ、医療工学など、理系分野を扱ったテーマを読み、今、世界がどのような発展を遂げているのか、理解を深めることがねらいである。																																		
授業方法(学習指導法)	主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。																																		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>何が問題になっているのか、英文を読んで、正確に理解できる。</li> <li>各課のトピックを読み、自分の意見が述べられる。</li> </ul>																																		
授業内容	<p>全体は大きく、前半と後半からなる。 授業の前半は、文法解説や、新出単語の解説、などに重点を当てる。 授業の後半はリーディングを中心とした授業で、文法を確認しながら精読していく。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>10月5日 教科書販売・Introduction</td></tr> <tr><td>2</td><td>10月12日 It's the human touch that makes a difference</td></tr> <tr><td>3</td><td>10月19日 Tracking greenhouse gases from space</td></tr> <tr><td>4</td><td>10月26日 Energy: Japan's alternative energy plans ignore wind power</td></tr> <tr><td>5</td><td>11月2日 Doctor in a pill</td></tr> <tr><td>6</td><td>11月9日 Recycled water for self-sufficient life</td></tr> <tr><td>7</td><td>11月16日 Antarctic team gets "veggie factory"</td></tr> <tr><td>8</td><td>11月30日 Inside the tsunami factory</td></tr> <tr><td>9</td><td>12月7日 Tiny toy helps mine-removal inventor think big</td></tr> <tr><td>10</td><td>12月14日 Supercomputer—infinity within reach?</td></tr> <tr><td>11</td><td>12月21日 Last call?</td></tr> <tr><td>12</td><td>1月11日 Wakata to become first Japanese to spend 3 months in space</td></tr> <tr><td>13</td><td>1月18日 New car navigation system warns of accidents</td></tr> <tr><td>14</td><td>1月25日 Instead of bifocals, how about bilinguals?</td></tr> <tr><td>15</td><td>2月1日 G-TELP とまとめ</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月5日 教科書販売・Introduction	2	10月12日 It's the human touch that makes a difference	3	10月19日 Tracking greenhouse gases from space	4	10月26日 Energy: Japan's alternative energy plans ignore wind power	5	11月2日 Doctor in a pill	6	11月9日 Recycled water for self-sufficient life	7	11月16日 Antarctic team gets "veggie factory"	8	11月30日 Inside the tsunami factory	9	12月7日 Tiny toy helps mine-removal inventor think big	10	12月14日 Supercomputer—infinity within reach?	11	12月21日 Last call?	12	1月11日 Wakata to become first Japanese to spend 3 months in space	13	1月18日 New car navigation system warns of accidents	14	1月25日 Instead of bifocals, how about bilinguals?	15	2月1日 G-TELP とまとめ
回	内容																																		
1	10月5日 教科書販売・Introduction																																		
2	10月12日 It's the human touch that makes a difference																																		
3	10月19日 Tracking greenhouse gases from space																																		
4	10月26日 Energy: Japan's alternative energy plans ignore wind power																																		
5	11月2日 Doctor in a pill																																		
6	11月9日 Recycled water for self-sufficient life																																		
7	11月16日 Antarctic team gets "veggie factory"																																		
8	11月30日 Inside the tsunami factory																																		
9	12月7日 Tiny toy helps mine-removal inventor think big																																		
10	12月14日 Supercomputer—infinity within reach?																																		
11	12月21日 Last call?																																		
12	1月11日 Wakata to become first Japanese to spend 3 months in space																																		
13	1月18日 New car navigation system warns of accidents																																		
14	1月25日 Instead of bifocals, how about bilinguals?																																		
15	2月1日 G-TELP とまとめ																																		

	16   2月8日 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	理工系学生のための総合英語 三修社 \1,800+税 第1回目の授業時、教室にてテキストを販売します。
成績評価の方法・基準等	定期試験60% 発表を含む、授業に対する積極的な取組状況40% 上の100%評価を80%に換算し、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。 教科書を購入すること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590011021	科目番号	05900110																				
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Te)																						
編集担当教員	中村 吏花																						
授業担当教員名(科目責任者)	中村 吏花																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中村 吏花																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]401																						
対象学生(クラス等)	Te																						
担当教員Eメールアドレス	arthur410@hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL																							
担当教員オフィスアワー	水曜昼休み																						
授業のねらい	TOEICに対応したテキストを使い、数多くの問題を解いてTOEICに慣れる。パターン別にその特徴を認識し、解答のコツを掴む。新出語句や表現を習得する。リスニング・リーディング練習をバランスよく行い、リスニング力・リーディング力の向上を目指す。																						
授業方法(学習指導法)	予習してきた問題の答えを確認する。語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるために、テキスト付属のCDを活用して、ディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。																						
授業到達目標	英語の基本4技能のうち特にリスニング・リーディングの力を向上させる。基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。																						
授業内容	<p>語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CDを活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。長文問題では、始めに速読、それから精読を意識して、本文の内容を確認する。授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。内容がよくつかめないときは、何がわからないのかを明らかにさせてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。*教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それより遅い入室は欠席扱いとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 10月5日 Introduction</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 10月12日 名詞・主語と動詞の一致</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 10月19日 形容詞・副詞</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 10月26日 基本時制</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 11月2日 進行形・完了形</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 11月9日 受動態</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 11月16日 Review</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 11月30日 分詞・分詞構文</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 12月7日 不定詞・動名詞</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 10月5日 Introduction	2	第2回 10月12日 名詞・主語と動詞の一致	3	第3回 10月19日 形容詞・副詞	4	第4回 10月26日 基本時制	5	第5回 11月2日 進行形・完了形	6	第6回 11月9日 受動態	7	第7回 11月16日 Review	8	第8回 11月30日 分詞・分詞構文	9	第9回 12月7日 不定詞・動名詞
回	内容																						
1	第1回 10月5日 Introduction																						
2	第2回 10月12日 名詞・主語と動詞の一致																						
3	第3回 10月19日 形容詞・副詞																						
4	第4回 10月26日 基本時制																						
5	第5回 11月2日 進行形・完了形																						
6	第6回 11月9日 受動態																						
7	第7回 11月16日 Review																						
8	第8回 11月30日 分詞・分詞構文																						
9	第9回 12月7日 不定詞・動名詞																						

	10	第10回 12月14日 助動詞
	11	第11回 12月21日 代名詞・関係詞
	12	第12回 1月11日 比較構文
	13	第13回 1月18日 前置詞
	14	第14回 1月25日 Review
	15	第15回 2月1日 G-TELPとまとめ
	16	第16回 2月8日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	安丸雅子『Seize the Essence of the TOEIC Test』(金星堂、2011年)1900円(税別) *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。	
成績評価の方法・基準等	定期試験50%、小テスト30%、G-TELP20%	
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がないと定期試験を受験できません。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011024	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Tc)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]104		
対象学生(クラス等)	Tc		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスアワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	日常英会話に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	できるだけ受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。		
授業内容	授業内容(概要): Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは健康問題について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意識の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得します。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction	
	2	第2回 Unit 1 Singapore's Love Potion Heads to Markets Overseas	
	3	第3回 Unit 2 Bird Flu May Have Passed Between Siblings	
	4	第4回 Unit 3 Foreign Staff Get OK for Emergency Training	
	5	第5回 Unit 4 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young	
	6	第6回 Unit 5 Experts Will Feed Infected Brains to Cows	
	7	第7回 Unit 6 New Alcohol-Flavored Biscuits Not to Everyone's Taste	
	8	第8回 Unit 7 Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer's Disease	
	9	第9回 Unit 8 Study: Melatonin May Help Lover High Blood Pressure	
	10	第10回 Unit 9 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise	
	11	第11回 Unit 10 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truck-choked Roads	
	12	第12回 Unit 11 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks	
13	第13回 Unit 12 Fitness: How Much Water Is Enough Curing Exercise?		

	14	第14回 Unit 13 Woman Listed as World's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114
	15	第15回 G-TELP まとめ
	16	第16回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング	
教科書・教材・参考書	Reading from Health and Nutrition News 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)	
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% G-TELP 20% Final Examination 50%	
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木1																																
開講期間																																			
必修選択	必	単位数	1.0																																
時間割コード	20110590011009	科目番号	05900110																																
授業科目名	●総合英語Ⅱ(D16・17)																																		
編集担当教員	上村 俊彦																																		
授業担当教員名(科目責任者)	上村 俊彦																																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	上村 俊彦																																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																																
教室	[全]302																																		
対象学生(クラス等)	D16・17																																		
担当教員Eメールアドレス	yandi@sun.ac.jp																																		
担当教員研究室	非常勤講師室																																		
担当教員TEL	095-813-5500																																		
担当教員オフィスアワー	長崎県立大学シーボルト校上村研究室(要事前予約)																																		
授業のねらい	1. Content and Language Integrated Learning (CLIL)の理論に基づいた大学レベルの英文テキストを学習する。 2. 英語コミュニケーションの4技能(reading, listening, Writing, speaking)の向上を目的とした演習を行う。																																		
授業方法(学習指導法)	毎回の授業(クラス活動)を重視します。また、毎回のクラス開始時に前週に学習した内容についてのリスニングを課します。																																		
授業到達目標	大意を取りながら英文テキストを読むこと、英語の基本的な構造や出現頻度の高い語彙を用いた英文を聞くこと・話すこと・書くことに習熟する。																																		
授業内容	<p>Reading Explorer 4では、文化・科学・社会などの諸領域に関する生の英語を学びます。クラスでは、英文テキストの訳読ではなくて、テキスト全体の大意を取る読み方(Extensive Reading)や音声CDを用いた音読のトレーニングを中心に行います。なお、クラス課題(英文レポート)の提出先として、iPortfolioを使う予定です。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 オリエンテーション、iPortfolioについて、Extensive Reading とは</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 U.1 Sport and Fitness</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 U.2 Skin Deep</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 U.3 Animals in Danger</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 U. 4 Violent Earth</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 U. 5 Islands and Beaches</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 U. 6 Ancient Mysteries</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 Review Units 1-6, Mid-Term Test</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 U. 7 Global Addictions</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 U. 8 Legendary Voyage</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回 U.9 Stories of Survival</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第12回 U. 10 All in the Mind</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第13回 U. 11 Art and Life</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第14回 U. 12 Medical Challenge</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>第15回 Review Units 7-12とG-TELP英語共通テスト</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 オリエンテーション、iPortfolioについて、Extensive Reading とは	2	第2回 U.1 Sport and Fitness	3	第3回 U.2 Skin Deep	4	第4回 U.3 Animals in Danger	5	第5回 U. 4 Violent Earth	6	第6回 U. 5 Islands and Beaches	7	第7回 U. 6 Ancient Mysteries	8	第8回 Review Units 1-6, Mid-Term Test	9	第9回 U. 7 Global Addictions	10	第10回 U. 8 Legendary Voyage	11	第11回 U.9 Stories of Survival	12	第12回 U. 10 All in the Mind	13	第13回 U. 11 Art and Life	14	第14回 U. 12 Medical Challenge	15	第15回 Review Units 7-12とG-TELP英語共通テスト
回	内容																																		
1	第1回 オリエンテーション、iPortfolioについて、Extensive Reading とは																																		
2	第2回 U.1 Sport and Fitness																																		
3	第3回 U.2 Skin Deep																																		
4	第4回 U.3 Animals in Danger																																		
5	第5回 U. 4 Violent Earth																																		
6	第6回 U. 5 Islands and Beaches																																		
7	第7回 U. 6 Ancient Mysteries																																		
8	第8回 Review Units 1-6, Mid-Term Test																																		
9	第9回 U. 7 Global Addictions																																		
10	第10回 U. 8 Legendary Voyage																																		
11	第11回 U.9 Stories of Survival																																		
12	第12回 U. 10 All in the Mind																																		
13	第13回 U. 11 Art and Life																																		
14	第14回 U. 12 Medical Challenge																																		
15	第15回 Review Units 7-12とG-TELP英語共通テスト																																		

	16 定期試験
キーワード	Extensive Reading, Four Skills
教科書・教材・参考書	Macintyre (2010) Reading Explorer 4 Cengage Learning
成績評価の方法・基準等	教材テキストに関する試験(2回、リスニング問題含む), G-TELPスコア、提出課題(iPortfolio使用), 出席状況等を総合的に検討して評価する。 Mid-Term Test 35% Final Test 35% Assignment 10% G-TELPの成績 20%
受講要件(履修条件)	欠席5回以上は失格
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	教材のリスニングパートの録音教材を用いた音読トレーニングが不可欠。 G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。

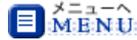


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	木2																
開講期間																			
必修選択	必	単位数	1.0																
時間割コード	20110590011026	科目番号	05900110																
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M14)																		
編集担当教員	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり																		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり																		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																
教室	[全]103																		
対象学生(クラス等)	M14																		
担当教員Eメールアドレス																			
担当教員研究室	非常勤講師控室																		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務局)																		
担当教員オフィスアワー	木曜日12時より																		
授業のねらい	精選された古典的な英文を通して、英語に親しみながら、文学と西洋思想に触れ、人間と様々な事象について考えを深め、医療を学ぶことに発展させ、或いは新たな視点から人間を捉えていく。著名な作家達の名文の思想に触れ、人生を豊かにし、将来の生き方に役立てる。英語の名文を熟読することにより、難解な英語の理解度を高めると同時に、文学に親しみ、言葉の美しさを味わい、感性を研ぎ澄まし、言語と人間及び思考の関連を考える。文学を学び、深い教養を身に着ける。																		
授業方法(学習指導法)	あらかじめ英文の内容と意味を調べてきた上で、それらについての自分の考えや意見、感想、疑問点等を明らかにしておき、授業で発表する。その上で、質問をするので、準備をしておきましょう。英文の解釈と内容の意味、英語の語法や読解の方法の説明を行う。																		
授業到達目標	英語で書かれた名作に対して関心を持ち、英語で読めるようになる。長文を読むための基本的な能力を養い、さらには応用として、難易度の高い英文を精読し、英語で理解し(読み取り)、英語で考える能力の基本と、豊かな感性を養成することができる。言語(英語と日本語)に対する関心を高める。言葉の美しさと豊かさを再認識する。人生を考察し、人間と生き方について意見を持ち、専門の勉強へと関連付けていく。また、英語の学習に対する意欲を高めるようになる。高い教養を身に着ける。																		
授業内容	<p>作家の生涯について読み、感想を持つ。初めに英文の内容の把握と理解を確認する。音読をして、あらかじめ準備してきた考えや意見を発表してもらう。その際に、互いの意見について、ディスカッションを行う。英文の解釈と内容、作者の思想や意図、及び留意点を、人間および人生との関わりの中で捉え、考えていく。精読の方法や、英語の語法や読解の方法、英文の読み方の指導を行う。言葉についての認識を確かなものにすべく、名文の鑑賞の仕方を伝え、作品に表現される言葉の美しさや深遠な思想を味わう。</p> <p>扱う作品は、人間のすぐれた思想や複雑な心理を表現したものばかりです。殊に、医療や生死がテーマの作品には、関心を持って学び、自らの考えを深めましょう。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月 6日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月13日 Lesson 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月20日 Lesson 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月27日 Lesson 4</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月10日 Lesson 5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月17日 Lesson 6</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月24日 Lesson 7</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月 6日 導入・授業内容の説明	2	10月13日 Lesson 1	3	10月20日 Lesson 2	4	10月27日 Lesson 4	5	11月10日 Lesson 5	6	11月17日 Lesson 6	7	11月24日 Lesson 7
回	内容																		
1	10月 6日 導入・授業内容の説明																		
2	10月13日 Lesson 1																		
3	10月20日 Lesson 2																		
4	10月27日 Lesson 4																		
5	11月10日 Lesson 5																		
6	11月17日 Lesson 6																		
7	11月24日 Lesson 7																		

	8	12月 1日	Lesson 1～7 の補足・まとめ
	9	12月 8日	Lesson 8
	10	12月15日	Lesson 9
	11	12月22日	Lesson 10
	12	1月12日	Lesson 11
	13	1月19日	Lesson 12
	14	1月26日	Lesson 13
	15	2月 2日	G-TELPテストとまとめ
	16		定期試験
キーワード	英語精読力 / 高い読解力 / 英語で書かれた名文を読む		
教科書・教材・参考書	名文で養う英語精読力 (薬袋善郎: 研究社) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。】 英語共通テストG-TELP評価20%		
受講要件(履修条件)	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ	英文を読めるようになる。高い教養と素養を身に着ける。人生の考察をして、今後の生き方へと反映させる。		
学習・教育目標	英語のリーディング・スキルを向上させる。教養を高める。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英文の内容を自分で把握しておきます。		





## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011002	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Ta)		
編集担当教員	大里 泰弘		
授業担当教員名(科目責任者)	大里 泰弘		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大里 泰弘		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	Ta		
担当教員Eメールアドレス	yoosato5@gmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスパワー	授業時に要確認		
授業のねらい	・英語の基本的なコミュニケーション文法を習得することを目標とする。 ・TOEIC基礎学力の定着		
授業方法(学習指導法)	学生に身近なトピックを取り上げ、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングの総合的演習を行う。		
授業到達目標	基本的な英語の読解、文法、語彙力の定着・向上		
授業内容	ユニットごとにテーマを取り上げての総合演習。・TOEIC様式の問題での学習(プリント)。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction L1	
	2	第2回 L2	
	3	第3回 L3	
	4	第4回 L4	
	5	第5回 L5, Review1	
	6	第6回 L6	
	7	第7回 L7	
	8	第8回 L8	
	9	第9回 L9	
	10	第10回 L10, Review2	
	11	第11回 L11	
	12	第12回 L12	
	13	第13回 L13	
	14	第14回 L14	
	15	第15回 G-TELPとまとめ	
16	第16回 定期試験		
キーワード	Communicative Grammar		

教科書・教材・参考書	English Quest- Basic Pearson Longman
成績評価の方法・基準等	定期試験はReview3としてReview1-3 60%、授業参加度(QUIZ・課題提出等)20%、G-TELP20%で評価する。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	共通英語学力テストG-TELPを実施。



-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	木3																												
開講期間																															
必修選択	必	単位数	1.0																												
時間割コード	20110590011012	科目番号	05900110																												
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Tb)																														
編集担当教員	勝俣 好充																														
授業担当教員名(科目責任者)	勝俣 好充																														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	勝俣 好充																														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																												
教室	[全]301																														
対象学生(クラス等)	Tb																														
担当教員Eメールアドレス																															
担当教員研究室	非常勤講師室																														
担当教員TEL	095-846-0084(長崎純心大学)																														
担当教員オフィスアワー	3限終了後、教室にて。																														
授業のねらい	大学において第二言語として英語を学ぶ目的、方法、考え方をあらかじめ整理・明確化し、これまでの学習の蓄積を俯瞰・統合・活性化することにつとめる。とくに読解におけるスキルの自動化によって論旨把握に重点を置くことができるようになることをねらいとする。受講者はそのためのスキルを主体的に再編・確認することがもとめられる。																														
授業方法(学習指導法)	基本事項を確認した後、テキスト読解を中心に、指名された学生はテキストの当該箇所について発表し、他の学生の質問に答えるというかたちですめる。																														
授業到達目標	英文読解の基本的なスキルに習熟することによって、300語程度の比較的短い論説文の論旨に意識を集中し、的確に把握することができるようになること。																														
授業内容	<p>最初にあらかじめ英語を学ぶ目的、方法、考え方を整理・明確化することからはじめ、その後、音声、文法、論旨の把握にかんする基本事項を確認し、テキスト演習をとおして、これまでの英語学習の蓄積を統合・活性化していく。授業終了後には、英語習得のスキルとして、みずから編集したレジュメを提出課題とする。そのようにして再確認された英語力によって、期末試験にのぞむことになる。</p> <p>第16回、2月9日、定期試験。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月6日、英語を学ぶ目的、方法、考え方</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月13日、音声の基本事項、母音と子音、強勢とリズム、変化する音</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月20日、文法の基本事項(1)品詞、句、節</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月27日、文法の基本事項(2)主部の構造</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月10日、文法の基本事項(3)述部の構造</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月17日、論旨の基本事項(1)パラグラフの構造と論旨の展開</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月24日、論旨の基本事項(2)読む速度と論旨の把握</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>12月1日、テキスト演習(1)</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12月8日、テキスト演習(2)</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>12月15日、テキスト演習(3)</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12月22日、テキスト演習(4)</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>1月12日、テキスト演習(5)</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>1月19日、テキスト演習(6)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月6日、英語を学ぶ目的、方法、考え方	2	10月13日、音声の基本事項、母音と子音、強勢とリズム、変化する音	3	10月20日、文法の基本事項(1)品詞、句、節	4	10月27日、文法の基本事項(2)主部の構造	5	11月10日、文法の基本事項(3)述部の構造	6	11月17日、論旨の基本事項(1)パラグラフの構造と論旨の展開	7	11月24日、論旨の基本事項(2)読む速度と論旨の把握	8	12月1日、テキスト演習(1)	9	12月8日、テキスト演習(2)	10	12月15日、テキスト演習(3)	11	12月22日、テキスト演習(4)	12	1月12日、テキスト演習(5)	13	1月19日、テキスト演習(6)
回	内容																														
1	10月6日、英語を学ぶ目的、方法、考え方																														
2	10月13日、音声の基本事項、母音と子音、強勢とリズム、変化する音																														
3	10月20日、文法の基本事項(1)品詞、句、節																														
4	10月27日、文法の基本事項(2)主部の構造																														
5	11月10日、文法の基本事項(3)述部の構造																														
6	11月17日、論旨の基本事項(1)パラグラフの構造と論旨の展開																														
7	11月24日、論旨の基本事項(2)読む速度と論旨の把握																														
8	12月1日、テキスト演習(1)																														
9	12月8日、テキスト演習(2)																														
10	12月15日、テキスト演習(3)																														
11	12月22日、テキスト演習(4)																														
12	1月12日、テキスト演習(5)																														
13	1月19日、テキスト演習(6)																														

	14	1月26日、テキスト演習(7)
	15	2月2日、G-TELPとまとめ
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書はプリントを使用、参考書は随時紹介する。	
成績評価の方法・基準等	G-TELP20%、提出課題10%、期末試験70%	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。

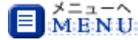


学期	後期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011025	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M12)		
編集担当教員	濱崎 大		
授業担当教員名(科目責任者)	濱崎 大		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	濱崎 大		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	M12		
担当教員Eメールアドレス	mohican007@hotmail.com		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	0.0		
担当教員オフィスマワー	非常勤講師室在中可		
授業のねらい	リーディングを中心に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、日本語訳、英語訳の対応力をつけていきます。また、意訳の方法を学びながら、判断力、応用力をつけていきます。		
授業方法(学習指導法)	受講生に回答の機会を与えて、日本語とは違う英語を自然に理解できるように講義を進めていきます。受講生は受動的な姿勢ではなく、自発的で積極的な姿勢が必要です。		
授業到達目標	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。同時に、英語力だけではなく教科書の内容から得る事ができる情報も、知識人として必要なものになります。		
授業内容	Unitの内容にそって、受講生に発言の機会を出来るだけ多く設けて進めていきます。テーマは幕末の長崎について多く取り上げられているTextですが、Phrase Reading、Skimming-Scanning、Listening、意訳の仕方、また、多種多様な単語、会話表現など、大学生に必要なSkillをTextで習得して行きます。		
	回	内容	
	1	第1回 Introduction	
	2	第2回 Unit 1 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (1)	
	3	第3回 Unit 2 Dr. Jan Karel Van den Broek as a Teacher of Western Technology (2)	
	4	第4回 Unit 3 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (1)	
	5	第5回 Unit 4 Pompe van Meerdervoort: Founder of the First Medical School in Japan (2)	
	6	第6回 Unit 5 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (1)	
	7	第7回 Unit 6 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (2)	
	8	第8回 Unit 7 The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (3)	
	9	第9回 Unit 8 Fat The Dutch Navy and the Transfer of Technology to Japan (4)	
	10	第10回 Unit 9 The Introduction of Western-Style Chemistry and Pharmacy.	
	11	第11回 Unit 10 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (1)	
	12	第12回 Unit 11 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (2)	
	13	第13回 Unit 12 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan (3)	
	14	第14回 Unit 13 The Dutch Steamship Company Fijenoord and its Dealings with Japan: Steam Factory Nagasaki 1856	

	15 第15回 G-TELP まとめ
	16 第16回 Final Examination
キーワード	スキミング、スキヤニング、キーワードリーディング、フレーズリーディング、リピーティング
教科書・教材・参考書	Pioneers of Western-Style Medical Education and Modern Technology in Japan 英光社 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)
成績評価の方法・基準等	Class Attendance and Participation: 30% Examination 70% (G-TELP: 20%, Final Examination: 50%)
受講要件(履修条件)	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。) 講義、演習の妨害行為はモラルとして自重してください。目に余る場合は、退室及び辞退を申し入れます。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPテストは、原則15回目の授業で実施。詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011035	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M11)		
編集担当教員	西原 俊明		
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]322		
対象学生(クラス等)	M11		
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室			
担当教員TEL	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50～13:30 他は、only by appointment		
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。		
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関する語彙、表現を身につける。		
授業内容	英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。		
	回	内容	
	1	10月7日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明	
	2	10月14日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)	
	3	10月21日 第3回 Voice Aerobics、医者と患者の会話(2)	
	4	10月28日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)	
	5	11月4日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)	
	6	11月11日 第6回 弱く発音される音、医者と患者の会話(5)	
	7	11月18日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、	
	8	11月25日 第8回 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2)	
	12月2日		

	9	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 医者と患者の会話(6)
	10	12月9日 第10回 グループによるディスカッション(1), 速読(3)
	11	12月16日 第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7), 速読(4)
	12	1月6日 第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3)
	13	1月20日 第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8), 速読(5)
	14	1月27日 第14回 医者と患者の会話(9), 速読(6)
	15	2月3日 第15回 G-TELPテスト, Review, 及びまとめテスト
	16	
キーワード	医学英語、音変化、速読	
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic、及びプリント教材。	
成績評価の方法・基準等	教員評価分【まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、まとめテストは、2回実施する。】 総合英語IIの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学カテストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。	
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。	
本科目の位置づけ	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。	
学習・教育目標	基礎的医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。 G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。	





## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金2																		
開講期間																					
必修選択	必	単位数	1.0																		
時間割コード	20110590011036	科目番号	05900110																		
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Ka)																				
編集担当教員	西原 俊明																				
授業担当教員名(科目責任者)	西原 俊明																				
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西原 俊明																				
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習																				
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																		
教室	[全]322																				
対象学生(クラス等)	Ka																				
担当教員Eメールアドレス	t-nishi@nagasaki-u.ac.jp																				
担当教員研究室																					
担当教員TEL	095-819-2095																				
担当教員オフィスアワー	火曜日12:50~13:30 他は、only by appointment																				
授業のねらい	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。																				
授業方法(学習指導法)	授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養うPlain Englishによる表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させたauthenticな教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBCなどの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。																				
授業到達目標	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、題材には環境問題に関わるものを選択し、学部教育への橋渡しのものを扱う。																				
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月7日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月14日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月21日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月28日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月4日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>11月11日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11月18日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11月25日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月7日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明	2	10月14日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	3	10月21日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)	4	10月28日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)	5	11月4日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)	6	11月11日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)	7	11月18日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)	8	11月25日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)
回	内容																				
1	10月7日 第1回 オリエンテーション 授業の進め方、授業で取り上げるスキルの概要説明																				
2	10月14日 第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)																				
3	10月21日 第3回 Voice Aerobics、速読(phrase reading)とペアワーク(1)																				
4	10月28日 第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading)																				
5	11月4日 第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading)																				
6	11月11日 第6回 弱く発音される音、速読(phrase reading)																				
7	11月18日 第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)																				
8	11月25日 第8回 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2)																				

	9	12月2日 第9回 インフォメーションギャップによるヘアワーク(2), 映画による聞き取り(3)
	10	12月9日 第10回 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4)
	11	12月16日 第11回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるヘアワーク(3), 速読(phrase reading)
	12	1月6日 第12回 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading)
	13	1月20日 第13回 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6)
	14	1月27日 第14回 英語の音のその他の特徴(prosodic featuresを中心として), グループによるディスカッション(2)
	15	2月3日 Review及びG-TELPテスト
	16	
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化	
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り、Plain English訓練テキスト (Cultural Encounters: センゲージ) 速読教材としては、各種英字新聞から環境、水産資源、生物に関わる話題を精選し、教材とする。	
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。 小テストは毎回行う。総合英語IIIは、英語共通テスト(G-TELP)が2割、教員担当分8割で評価がなされます。	
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！	
本科目の位置づけ	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。	
学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)		





タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011003	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Tf)		
編集担当教員	橋本 高明		
授業担当教員名(科目責任者)	橋本 高明		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	橋本 高明		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	Tf		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	緊急の場合は全学教育事務室へ		
担当教員オフィスアワー	金曜日昼休み		
授業のねらい	この授業科目では、以下に示す技能の習得をめざす。 1) 英語文中の構成素の文法的役割とそれらのあいだの修飾関係を正確に理解する。 2) 英語文構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現するメタ言語訳を作る。 3) メタ言語訳中の構成素の文法的役割や修飾関係を正確に表現する英語文を作る。 4) 各段落中のtopic sentenceを同定する。 5) 記事全体の構成の中での各段落の役割および段落間の関係を理解し、説明する。		
授業方法(学習指導法)	各週の授業では、自然科学に関わる平易な記事を読み、音読により発音練習し、記事の英文の構造を正確に理解して日本語を用いたメタ言語訳を作る。また、記事の各段落についてtopic sentenceを見つけ、記事全体の中でそれぞれの段落がどのような役割を果たしているか、段落間にはどのような関係があるかを判定する演習を行う。履修者は、各週の記事・練習問題をかならず予習し、発表準備をして授業に臨むこと。		
授業到達目標	上記「授業のねらい」の技能(1)～(5)について、担当教員の評価で60%以上適切と評価される水準の言語技能を運用できるようになる。		
授業内容	15回の授業を行い、16回目授業校時(2月10日)に期末試験を行う。		
	回	内容	
	1	第1回 10月7日 授業の内容・方法の説明、penmanshipプリテスト、文法プリテスト	
	2	第2回 10月14日 Unit 1: Bioplastics (1)	
	3	第3回 10月21日 Unit 1: Bioplastics (2) / Unit 2: Dandelions (1)	
	4	第4回 10月28日 Unit 2: Dandelions (2)	
	5	第5回 11月4日 Unit 3: Superbug Produces Ethanol (1)	
	6	第6回 11月11日 Unit 3: Superbug Produces Ethanol (2) / Unit 5: Electric Cars and Fuel Cells (1)	
	7	第7回 11月18日 Unit 5: Electric Cars and Fuel Cells (2)	
	8	第8回 11月25日 復習1、中間試験	
	9	第9回 12月2日 Unit 7: Wetlands in the Netherlands (1)	
	10	第10回 12月9日 Unit 7: Wetlands in the Netherlands (2) / Unit 9: Aluminum and the Environment (1)	
	11	第11回 12月16日 Unit 9: Aluminum and the Environment (2)	
	12	第12回 1月6日 Unit 14: Solar Box Cookers (1)	

	13 第13回 1月20日 Unit 14: Solar Box Cookers (2) / Unit 16: Super Rice (1)
	14 第14回 1月27日 Unit 16: Super Rice (2)
	15 第15回 2月3日 G-TELP試験実施とまとめ
	16 第16回 2月10日 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	教科書: Nishimoto, Fumio. VOA Science for Today. Tokyo: Kinseido, 1996. 参考書: 小野経男『チャート式新英文法』東京: 数研出版, 1990.
成績評価の方法・基準等	成績は、原則として、2回の試験の評価を最終評価の64%、授業発表、宿題、提出物の評価を最終評価の16%、G-TELPの成績を最終評価の20%とする。正当な理由なく6回以上欠席した者は期末試験受験資格を失う。(詳細は以下の受講要件を参照のこと)
受講要件(履修条件)	この授業を履修して単位取得するためには、上記「授業のねらい」の(1)~(5)の技能について、担当教員の評価基準で、少なくとも60%以上適切とされる水準の言語技能を習得しなくてはならない。技能(1)および(2)、(4)、(5)についてはおもに授業発表を通して評価を行う。技能(1)および(3)については2回の筆記試験を通して評価を行う。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	宿題、その他の提出物を遅れて提出することは認めない。授業には必ず辞書、教科書、筆記具、配布済みのハンドアウトを持参すること。やむを得ない事情(期末試験を欠席した場合に追試験が認められるような理由)で欠席した場合、公欠扱いを希望する者は、理由を明記した欠席届とやむを得ない理由を立証する証明書類を提出すること。公欠扱いにならない理由で中間試験を欠席した場合には、中間試験を0点扱いとする。





長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011010	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Th)		
編集担当教員	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山田 健太郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	Th		
担当教員Eメールアドレス	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。		
授業方法(学習指導法)	具体的には、英文学習雑誌English-Plusの中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別にTOEICの練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。ディクテーション・テストも組み入れてリスニング力も強化する。		
授業到達目標	TOEIC450点以上の英語力		
授業内容	英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC対策テキストを数ページする。数回おきにテキスト指定箇所のディクテーションテストを行なう。適宜実力テストを実施する。		
	回	内容	
	1	第1回 オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)	
	2	第2回 エッセイ1Q&A、TOEIC対策テキストDrill 1, 2	
	3	第3回 エッセイ2Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 3, 4	
	4	第4回 エッセイ3Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8	
	5	第5回 エッセイ4Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 9, 10	
	6	第6回 エッセイ5Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 11, 12	
	7	第7回 エッセイ6Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 13, 14	
	8	第8回 エッセイ7Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 15, 16 ディクテーションテスト	
	9	第9回 エッセイ8Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20	
	10	第10回 エッセイ9Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 21, 22	
	11	第11回 エッセイ10Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 23, 24	
	12	第12回 エッセイ11Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 25, 26	
	13	第13回 エッセイ12Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 27, 28 ディクテーションテスト	
	14	第14回 エッセイ13Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 29, 30, 31, 32	
15	第15回 G-TELP テストとまとめ		

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	English-Plus (採用ナンバーは後日決定する) 『新TOEIC Test文法・リーディング対策 中級問題集』松柏社
成績評価の方法・基準等	定期試験60%、小テスト(ディクテーション)20%、積極的な授業への参加度20%。 これらの総合成績を80%とし、G-TELPテストの結果を20%とする。(大学の評価方針による)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学\_総英Ⅱ」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3												
開講期間															
必修選択	必	単位数	1.0												
時間割コード	20110590011027	科目番号	05900110												
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Tg)														
編集担当教員	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 ゆかり														
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 ゆかり														
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習														
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目												
教室	[全]302														
対象学生(クラス等)	Tg														
担当教員Eメールアドレス															
担当教員研究室	非常勤講師控室														
担当教員TEL	095-819-2078(非常勤講師控室)														
担当教員オフィスアワー	授業終了後 2時30分より														
授業のねらい	世界中から発信された、最新の環境や健康に関するニュースを読み、興味深い内容の英文を通して、世界の環境や健康に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、和訳の仕方を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。														
授業方法(学習指導法)	CDを用いながら、声に出して読む訓練を行い、話す能力へと発展させていく。発音の指導を行うので、積極的に活動に参加する。テキストに解答を書き込んで、理解を確かなものにする。読解の方法、和訳の技術、及び文法事項を説明する。英語習得の方法を、資料等を用いて指導する。														
授業到達目標	健康に対して関心を持ち、生活に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。														
授業内容	<p>リーディングの方法として、準備段階を踏んで、リーディング本来の活動(スキミング、スキヤニング、フレーズ・リーディング、リピーティング)を行う。CDを聴きながら、与えられたフレーズごとに日本語に訳をする。次に再びCDを聴いて、英文をフレーズごとにリピーティングする。リーディングについては、英文ニュース全体をスキミングとスキヤニングにより、内容の把握と理解をする。さらに、文法事項の復習を行い、TOEIC形式の文法問題を解く。本文の表現を用いて、英作文をする。(テキストに無記入の箇所が無いように書き込んでいく。) また、英語の習得の方法について、資料等を用いて指導を行う。</p> <p>英文は英字新聞から選ばれてきたものであり、フレーズ・リーディングを行うことで、教科書は特色あるものである。毎回の授業には、必ず予習をして臨みましょう。英単語の意味を調べ、英作文を自分で考えておくこと。また、聴く・話すという能力は、毎日欠かさず練習しなくては向上しないので、テキスト付録のCDを用いて、自宅で予習と復習を必ず行って下さい。 自学が非常に重要な意味を持ちます。継続が大切であり、各自目標を定めて努力することを期待します。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月 7日 導入・授業内容の説明</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月14日 Unit 1</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>10月21日 Unit 2</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10月28日 Unit 3</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>11月 4日 Unit 4</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	10月 7日 導入・授業内容の説明	2	10月14日 Unit 1	3	10月21日 Unit 2	4	10月28日 Unit 3	5	11月 4日 Unit 4
回	内容														
1	10月 7日 導入・授業内容の説明														
2	10月14日 Unit 1														
3	10月21日 Unit 2														
4	10月28日 Unit 3														
5	11月 4日 Unit 4														

	6	11月11日	Unit 5
	7	11月18日	Unit 6
	8	11月25日	Unit 7
	9	12月 2日	Unit 8
	10	12月 9日	Unit 9
	11	12月16日	Unit 10
	12	1月 6日	Unit 11
	13	1月20日	Unit 12
	14	1月27日	Unit 13
	15	2月 3日	G-TELPポスト・テストとまとめ
	16		定期試験
キーワード	リーディング・リスニング・英文法・英字新聞・世界の出来事・健康		
教科書・教材・参考書	健康・食品ニュースを読む（小笠原真司：金星堂）英和辞典（電子辞書）を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【定期試験を筆記で行います。主に定期試験により評価をします。それに授業中の活動を加えます。定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。また、受講中の態度を非常に重視します。】 英語共通テストG-TELP20%		
受講要件（履修条件）	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		
本科目の位置づけ	リーディング・スキルの定着と向上を図る。		
学習・教育目標	総合的な英語の能力の基本を習得する。世界の出来事への関心を高める。		
備考（URL）			
備考（準備学習等）	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		





## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011031	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Kb)		
編集担当教員	松田 雅子		
授業担当教員名(科目責任者)	松田 雅子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	松田 雅子		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	Kb		
担当教員Eメールアドレス	mmatsuda@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部4階404研究室		
担当教員TEL	095-819-2740		
担当教員オフィスアワー	月曜日4-5時		
授業のねらい	基本的な英語を話す、聞く、読む、書く力を伸ばす。コミュニケーション力をつける。		
授業方法(学習指導法)	ビデオ・映画視聴、リスニング、リピーティング、シャドウイング、ペアで会話練習、リーディング、ライティング		
授業到達目標	簡単な会話の文型を覚えて、身近なことや自分のことについて話せるようになる。 簡単な英語の本をすらすらと読める。 自分のコメントを言えるようになる。		
授業内容	<p>① 外国語学習に音声の要素を含めるか否かが習得の成功の鍵となるので、CDを何度も聞き、声を出して練習する。I Cレコーダーに録音し、学習の記録をとる。 ② イギリスのドラマを視聴し、ロールプレイをする。 ③ 簡単な英語教材を読み、英語で内容をまとめ、意見を発表する ④ 映画を英語字幕で鑑賞する。家でも見るようにする。</p> <p>第1回 1課—4課 第2回 5課—8課 第3回 9課—12課 第4回 13課—16課 第5回 17課—20課 第6回 21課—24課 第7回 25課—28課 第8回 29課—32課 第9回 33課—36課 第10回 37課—40課 第11回 41課—44課 第12回 45課—48課 第13回 49課—50課 第14回 会話テスト 第15回 G-TELPとreview 第16回 筆記テスト</p>		
キーワード	スピーキング、リピーティング、レコーディング、ペアワーク		
教科書・教材・参考書	1) 英会話なるほど練習帳(アルク、2001) 2) 副読本2冊(テキストは最初の時間に販売) 3) プリント教材		
成績評価の方法・基準等	教員評価分80%【定期試験50%、口頭試験30%、課題20%】、G-TELPテスト20%		

受講要件(履修条件)	1) 毎回必ず授業に出席すること。 2) 毎日英語の音読を録音すること。
本科目の位置づけ	英語の読み、書き、聞く、話す力の基礎を勉強する。
学習・教育目標	簡単な英語の読み、書き、聞く、話す力をつける。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	毎日必ず英語を音読し、録音する。 英語の映画を英語字幕で見る。

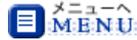


-----  
Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバス一覧 &gt; シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。

[戻る](#)

学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011011	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M13)		
編集担当教員	山田 健太郎		
授業担当教員名(科目責任者)	山田 健太郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山田 健太郎		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]303		
対象学生(クラス等)	M13		
担当教員Eメールアドレス	k-yamada@sun.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業の前後		
授業のねらい	リーディングとリスニングに重点をおきながら、英語の4技能(リーディング・ライティング・リスニング・スピーキング)を総合的に向上させることをめざす。		
授業方法(学習指導法)	具体的には、英文学習雑誌English-Plusの中から、比較的短くて読みやすいエッセイを選び、1回の授業で1エッセイを読む。これとは別にTOEICの練習問題を毎回して、目標を意識した学習を心がける。ディクテーション・テストも組み入れてリスニング力も強化する。		
授業到達目標	TOEIC 450点以上の英語力		
授業内容	英語力鍛錬のため、毎回英英辞典を使ったクイズ、課題エッセイについての英問英答、TOEIC対策テキストを数ページする。数回おきにテキスト指定箇所のディクテーションテストを行なう。適宜実力テストを実施する。		
	回	内容	
	1	第1回 オリエンテーション(英英辞典の利用や、リスニング力向上のためのコツなど、英語学習全般について)	
	2	第2回 エッセイ1Q&A、TOEIC対策テキストDrill 1, 2	
	3	第3回 エッセイ2Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 3, 4	
	4	第4回 エッセイ3Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 5, 6, 7, 8	
	5	第5回 エッセイ4Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 9, 10	
	6	第6回 エッセイ5Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 11, 12	
	7	第7回 エッセイ6Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 13, 14	
	8	第8回 エッセイ7Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 15, 16 ディクテーションテスト	
	9	第9回 エッセイ8Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 17, 18, 19, 20	
	10	第10回 エッセイ9Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 21, 22	
	11	第11回 エッセイ10Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 23, 24	
	12	第12回 エッセイ11Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 25, 26	
	13	第13回 エッセイ12Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 27, 28 ディクテーションテスト	
	14	第14回 エッセイ13Q&A、TOEIC対策テキスト Drill 29, 30, 31, 32	
15	第15回 G-TELP テストとまとめ		

	16 定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	English-Plus (採用ナンバーは後日決定する) 『新TOEIC Test文法・リーディング対策 中級問題集』松柏社
成績評価の方法・基準等	定期試験60%、小テスト(ディクテーション)20%、積極的な授業への参加度20%。 これらの総合成績を80%とし、G-TELPテストの結果を20%とする。(大学の評価方針による)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System

メニューへ  
MENUログアウト  
LOGOUT

シラバス関連 &gt; シラバス参照 &gt; シラバス検索 &gt; シラバスイ覧 &gt; シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1799秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。

[戻る](#)

学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011029	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(Td)		
編集担当教員	ペー シュウキー		
授業担当教員名(科目責任者)	ペー シュウキー		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	ペー シュウキー		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]401		
対象学生(クラス等)	M15		
担当教員Eメールアドレス	s-beh@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	健康や環境を中心とした英語のニュース記事を読み、また関連するニュースを見た上で、自分の考えを話したり、コメントを書いたりすることで、各種スキルを向上させる。		
授業方法(学習指導法)	授業はタスクとテキストを1回ごとに交互に進めていく。授業のねらいに沿って、毎回各種活動をとりにいれる。		
授業到達目標	英語のニュースを読んだり聞いたりして、理解した上で、その内容について自分の意見やコメントを英語で簡潔に表現できるようになる。		
授業内容	回	内容	
	1	ORIENTATION	
	2	第2回目 UNIT 3	
	3	第3回目 TASK	
	4	第4回目 UNIT 4	
	5	第5回目 TASK	
	6	第6回目 UNIT 5	
	7	第7回目 TASK	
	8	第8回目 UNIT 6	
	9	第9回目 TASK	
	10	第10回目 UNIT8	
	11	第11回目 TASK	
	12	第12回目 UNIT 9	
	13	第13回目 TASK	
	14	第14回目 UNIT 15	
	15	第15回目 G-TELPとまとめ	
16	16回目 END-OF-TERM EXAMINATION		
キーワード			

教科書・教材・参考書	"教科書:Healing Our World Today's Health and Environment News (南雲堂出版) 参考書:授業中に適宜紹介する"
成績評価の方法・基準等	"PARTICIPATION & PRESENTATION 20% MINI-LISTENING TEST 20% G-TELP 20% END-OF TERM EXAMINATION 40%"
受講要件(履修条件)	"1.英英辞典(電子辞書可)を毎回持参すること(携帯電話不可) 2.ノート(A4)を毎回持参すること"
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	1. 毎週課題を出すので家で完成させてくること 2. ほぼ毎週mini-listeningテストを実施するので準備してくること 3. 詳細については授業の初回に説明します





## シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学\_総英Ⅱ**」  
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590011032	科目番号	05900110
授業科目名	●総合英語Ⅱ(M15)		
編集担当教員	池田 俊也		
授業担当教員名(科目責任者)	池田 俊也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	池田 俊也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 既習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]205		
対象学生(クラス等)	M15		
担当教員Eメールアドレス	t-iked@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL	819-2092		
担当教員オフィスマワー	在室時随時		
授業のねらい	①総合英語Ⅰで習得した総合的な英語の力をさらに伸ばすこと。とりわけ、reading, writing, listening, speaking の4技能のうち、reading と listening に重点を置く。 ②reading 指導では、内容に応じて、'oral reading'及び'bottom up' と 'topdown' の読解法理論の実践を行う。 ③listening指導では、毎回行う小テストで聴解力の向上を目指し、同時にコールシステム活用を喚起する。		
授業方法(学習指導法)	①内容に応じて、'paragraph reading'による速読の訓練を行う。内容としては科学的なエッセイを読むが、Unit 毎の内容理解の確認を練習問題を通して行う。読解の要点は学生各自の発表の形でやってもらう。 ②あわせて、listening では毎時間小テストを行い、聴解力向上を図る。		
授業到達目標	①要点を的確につかみ取る英語読解力と英語聴解力を身につけること。 ②コールシステムなどの機材を活用して、自学への積極性を持つようになること。		
授業内容	16回目 2月10日 定期試験		
	回	内容	
	1	授業の概要説明。クラスで学ぶことなど。以下の大まかな順番で授業を進める。①は読解テキストの内容、②は聴解テキストのトピック。 10月7日: 食物について考える(1) ①Health Benefits of Eating Fish②数字を聞き取る	
	2	10月14日: 食物について考える(2) ①Red Wine, the Magic Liquid ②株式市場	
	3	10月21日: 食物について考える(3) ①Mad Cow Disease in Japan②分数	
	4	10月28日: ITについて考える(1) ①Losing our Privacy ②大きな数	
	5	11月4日: ITについて考える(2) ①Cell Phone Radiation ②時間を聞き取る	
	6	11月11日: 未来の科学について考える(1) ①Safer Driving through Technology ②一日の生活	
	7	11月18日: 未来の科学について考える(2) ①Stress-free Driving ②公共交通	
8	11月25日: 未来の科学について考える(3)		

	①New Fuel for Rockets ②図の説明
9	12月2日:微生物について考える(1) ①Making a New Earth? ②勉強部屋の説明
10	12月9日:微生物について考える(2) ①Mites and Allergies ②台所
11	12月16日:人体の科学について考える(1) ①Sleeping and Dreaming ②シンボルマーク
12	1月6日:人体の科学について考える(2) ①Temperature at Birth ②化粧部屋
13	1月20日:人体の科学について考える(3) ①Do you have the Time? ②アパート探し
14	1月27日:健康について考える(1) ①Under Pressure ②パーソナルカード
15	2月3日:健康について考える(2)とG-TELPテスト ①Myopia ②時間割
16	定期試験
キーワード	
教科書・教材・参考書	①小堂俊孝 他, Science Makes Life Exciting, 成美堂 ②J.M. Vardaman, Facts and Figures, 松柏社
成績評価の方法・基準等	教員評価部分【期末筆記試験及び小テストの結果(80%)と授業中の発表・授業への取り組み方など総合的に評価する。】 平成22年度後期の総合英語IIの評価は、各教員の評価を80%とし、共通英語学力テストG-TELPの成績を20%とし、総合的に行なわれます。
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	G-TELPのテストは、原則として授業の15回目に行なわれます。詳細に関しては、担当教員より1回目の授業時に説明が行なわれますので、よく聞いて指示にしたがってください。また、掲示も行いますので、よく注意しておいてください。

